

龍谷大学図書館長 殿

所属・職名 文学部・准教授
氏名 池末 陽子2023 年度 大型図書 研究成果（経過）報告書

このことについて、下記のとおり報告いたします。

購入資料名： 19世紀後半のアメリカ文化の中心雑誌『センチュリー・マガジン』 <i>The Century Illustrated Monthly Magazine.</i> Vols. 1-120/#2 (1870-1930). all publ.	採択年度： 2023年度
1. 研究の概要について 申請者は、主として19世紀アメリカの文学・文化を研究対象としている。重厚な歴史を持つヨーロッパの影響を強く受けつつも、北米大陸という新しい環境で育まれた独自の文化や思潮に注目し、初期アメリカ文学作品に映し出される創世期の課題、植民地主義、産業主義のもとでの科学技術の発展などが、いかに文学や文化に反映されてきたかを研究テーマとしている。	
2. 購入資料の活用状況（活用予定を含む）について記入してください。 今回の資料は、アメリカやヨーロッパの文学史における重要作家の寄稿を多数含み、申請者が継続して進めている19世紀から20世紀にかけての文学・文化研究の核を成すものである。収録された資料には、南北戦争後のアメリカにおけるナショナリズム、公務員改革や環境政策の進展、公民権運動、社会主義や労働運動など、当時の社会的・政治的・宗教的・芸術的・科学的諸問題が広く反映されている。これにより、当時の歴史的背景や思想潮流を立体的に把握することが可能となり、申請者の研究にとって極めて有用な一次資料となる。今後も積極的に活用を継続していきたい。 さらに、本誌は19世紀後半から20世紀前半にかけての英米文学・作家研究に不可欠な資料として学術的に高い価値を有する。全巻が揃ったコレクションは現在では入手困難であり、その質の高さは文学研究にとどまらず、社会学・歴史学など隣接分野の研究の一層の充実にも寄与し得る。加えて、学部授業や大学院での論文指導においても活用可能であり、全学的資源としての有用性もきわめて高いと考えている。	

3. 研究発表状況（予定を含む）について記入してください。

・【雑誌論文】

1. 池末陽子「ホーソーンの詩と『詩集』（1967）について」『フォーラム』第30号，2026年3月（予定）。
2. 池末陽子「ウィリアム・ディーン・ハウエルズと 十九世紀末のホテル ―アメリカ文学におけるホテル的空間の文化史（2）」『龍谷大學論集』503号，2025年3月，pp.111-121.
3. 池末陽子「災難と救済―ポーとアポカリプスの寓話」『エコクリティシズム・レビュー』第16号，2023年8月，pp. 3-13.

・【図 書】（著者名、タイトル、出版社、発行年等）

1. 東雅夫他編『幻想と怪奇V』春風社，2025年（予定）
2. 池末陽子・三宅一平編著『アメリカン・ポエジーの水脈（龍谷叢書）』小島遊書房，2025年。
3. 橋本安央他編『アメリカ文学史への招待：豊饒なる想像力』法律文化社，2025年。

・【学会発表】（発表者名、発表タイトル、学会名、発表日等）

1. 池末陽子（司会・講師）「ホーソーンの詩と『詩集』（1967）について」日本ナサニエル・ホーソーン協会第43回全国大会シンポジウム「詩人ホーソーンの横顔――ホーソーンの詩を読む」2025年6月22日。
2. 池末陽子（研究発表）「詩的霊源（アンブロジーア）と主知的文学論の狭間で――阿部知二とエドガー・アラン・ポー」日本英文学会中国四国支部第76回大会，2024年11月2日。
3. 池末陽子（講師）「女が語り始めるとき―Edgar Allan Poe の 作品における霊との交信」日本英文学会関西支部 第18回大会シンポジウム「幽霊を見る、死者の声を聞く――英米文学における生と死のあわい」2023年12月17日。

☆公表の際には、参考文献として刊行物に明記してください。

☆資料購入後、**1年以内に研究経過報告書**を提出し、また、**3年以内に研究成果報告書**を提出してください。

加えて著書または学術雑誌等により**研究成果の公表または学会発表**をしてください。

2020年度採択締切：【研究経過報告書】2022年3月31日、【研究成果報告書】2024年3月31日

2021年度採択締切：【研究経過報告書】2023年3月31日、【研究成果報告書】2025年3月31日

2022年度採択締切：【研究経過報告書】2024年3月31日、【研究成果報告書】2026年3月31日

2023年度採択締切：【研究経過報告書】2025年3月31日、【研究成果報告書】2027年3月31日

2024年度採択締切：【研究経過報告書】2026年3月31日、【研究成果報告書】2028年3月31日

2025年度採択締切：【研究経過報告書】2027年3月31日、【研究成果報告書】2029年3月31日